

校訓	真善美	平成29年度学校だより	発行日	平成30年3月13日
教育目標	自主、自立、感謝の精神を抱き、 未来を拓く生徒の育成 -豊かな心、確かな学力、健やかな体を育てる-	「荒中だより」 第38号	発行者	伊丹市立荒牧中学校 校長 難波 重之

## 卒業証書授与式

3月9日(金)、春の息吹を感じる中、第37回卒業証書授与式が挙行されました。保護者の皆様をはじめ、伊丹市教育委員会、地域の皆様(学校運営協議会委員、少年進路相談員、地区長、自治会関係、少年補導委員、民生児童委員など)、校区内の幼稚園・小学校校園長の先生方、高等学校の先生方、各PTA関係の方々など多数のご来賓の方々にも見守っていただきながら、<sup>おごそ</sup>厳かで感動的な卒業式となりました。

ご出席くださいました皆様には、ご多用の中、本当にありがとうございました。



261名の卒業生からの記念品として、**200インチ(4816cm×2491cm)の手動スクリーン**をいただき、体育館ステージに設置しました。

すでに「3年生を送る会」のスライドショーの際に、使用させていただきました。未永く大切に使用させていただきます。ありがとうございました。

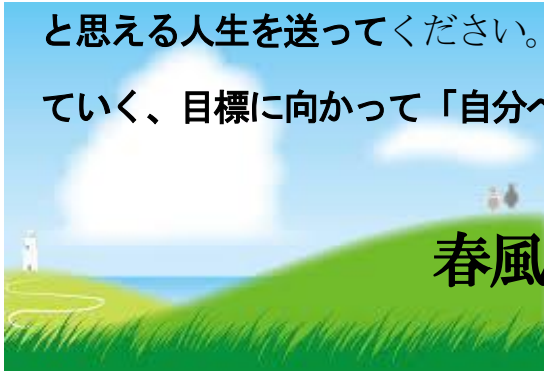


明るく節度があり行事になれば真剣に力いっぱい取り組んできた卒業生は、下級生の皆さんにとって、手本となる頼もしい先輩だったと思います。皆さんも**お互いに信頼し合い、真に支え合える集団に成長してください。**

皆さんが大人になる頃には、今よりもいっそう少子高齢化が進み、そのことによって国力の低下、年金や税金の問題、人材不足などが引き起こされると言われています。また、今まで人間が担ってきた相当部分を人工知能が肩代わりし、多くの仕事が自動化されるとも言われています。そのような予測困難な社会では、**社会の変化に主体的に向き合って関わり、他の人と協働しながら解決する力や人の立場に立**

って考えられる思慮の深さなどが必要です。そのような力を磨くために、普段から様々な物事の意味を正しく理解し、深く考えた上で、自分の考えを表現することを意識し続けてください。

人生は進歩の連続です。若い時代は準備の時であり、最上さいじょうのものは過去にあるのではなく未来にあります。これから何十年も続く日々を、「今が一番充実している」と思える人生を送ってください。そのために、「昨日の自分」を今日は少しでも超えていく、目標に向かって「自分への挑戦を続ける」人生であってください。



春風や 闘志抱きて 丘に立つ

高浜虚子きよし

\*高浜虚子 まさおかしき 正岡子規の教えを受けた明治から昭和にかけての俳人

## 伊丹市児童生徒保健体育賞

【1 年】吉田琉成、澁井心結、千々松実咲、徳本愛結実、萩原実咲、中司和花

【2 年】鳥居蓮太郎、野嶋圭人、森脇櫻輝、景山雄貴

齊藤雄介、村上卓弥、谷川一輝、島田和衛

大野大地、清本耕介、中島愛斗、岩下 誠

野々真幸、伊藤安菜、中西こはる、水野美緒奈、種子田結理、井上 空

木村香陽、殿岡 諒、村岡香里、徳田桜子、永野実海、西垣美衣南



## STU48の石田みなみさんが来校しました

3月6日(火)、本校を2014年3月に卒業した石田みなみさんが来校されました。

石田さんは、AKB48の姉妹グループで、瀬戸内エリアを拠点に活動するSTU48の一員です。中2の時の担任だった相馬康先生や高木先生らと当時の思い出話に花が咲きました。1月にデビュー・シングル「暗闇」が発売されました。皆さんも応援してあげてください。



**自信と誇りを持てる学校を創ろう!!**